

曾国藩全集

日记
(二)

清 李瀚章 编撰
清 李鸿章 校勘

典藏本
拾肆



中国华侨出版社

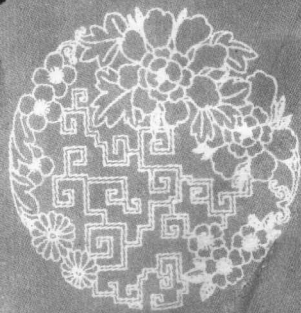
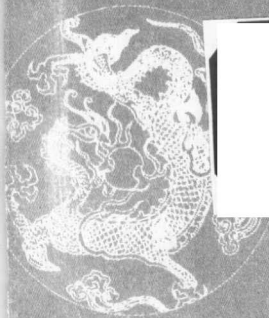
日记 (二)

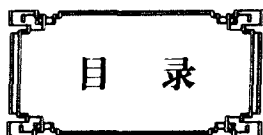
李瀚章
李鸿章

编撰
校勘



中国华侨出版社





目 录

道光拾玖年	(1)
正月	(1)
二月	(5)
三月	(9)
四月	(13)
五月	(16)
六月	(19)
七月	(22)
八月	(25)
九月	(28)
十月	(31)
十一月	(34)
十二月	(37)
道光廿年	(39)
正月至六月	(39)
七月至九月	(43)
十月	(45)

十一月	(45)
十二月	(50)

道光廿壹年

正月	(55)
二月	(60)
三月	(65)
闰三月	(70)
四月	(75)
五月	(79)
六月	(84)
七月	(85)
八月	(90)
九月	(95)
十一月	(98)
十二月	(103)

道光廿贰年

十月	(106)
十一月	(116)
十二月	(127)

道光廿叁年

正月	(136)
二月	(143)
三月	(150)
四月	(156)

六月	(158)
七月	(161)
九月	(163)
十月	(164)
十一月	(167)
道光廿肆年	(170)
正月	(170)
二月	(174)
三月	(177)
四月	(181)
五月	(185)
六月	(189)
七月	(192)
八月	(196)
九月	(200)
十月	(204)
十一月	(208)
道光廿伍年	(212)
正月	(212)
二月	(217)
咸丰捌年	(222)
三月至四月	(222)
六月	(223)
七月	(230)

八月	(248)
九月	(267)
十月	(284)
十一月	(297)
十二月	(304)
咸丰玖年	(313)
正月	(313)
二月	(321)
三月	(331)
四月	(341)
五月	(350)
六月	(358)
七月	(365)
八月	(372)
九月	(382)
十月	(390)
十一月	(398)
十二月	(409)
咸丰拾年	(417)
正月	(417)
二月	(425)
三月	(432)
闰三月	(440)
四月	(449)
五月	(456)

六月	(466)
七月	(475)
八月	(483)
九月	(490)
十月	(498)
十一月	(504)
十二月	(512)
咸丰拾壹年	(522)
正月	(522)
二月	(531)
三月	(542)
四月	(552)
五月	(562)
六月	(571)
七月	(579)
八月	(589)
九月	(599)
十月	(607)
十一月	(618)
十二月	(627)
同治元年	(637)
正月	(637)
二月	(646)
三月	(655)
四月	(664)

五月	(674)
六月	(683)
七月	(691)
八月	(699)
闰八月	(708)
九月	(719)
十月	(731)
十一月	(741)
十二月	(750)

同治貳年 (759)

正月	(759)
二月	(769)
三月	(778)
四月	(789)
五月	(799)
六月	(809)
七月	(818)
八月	(827)
九月	(837)
十月	(846)
十一月	(854)
十二月	(862)

同治叁年 (871)

正月	(871)
二月	(880)

三月	(889)
四月	(902)
五月	(912)
六月	(922)
七月	(932)
八月	(941)
九月	(950)
十月	(958)
十一月	(966)
十二月	(976)
同治肆年	(985)
正月	(985)
二月	(994)
三月	(1002)
四月	(1011)
五月	(1020)
闰五月	(1028)
六月	(1037)
七月	(1046)
八月	(1055)
九月	(1064)
十月	(1072)
十一月	(1080)
十二月	(1088)

同治伍年 (1095)

正月 (1095)

二月 (1102)

三月 (1110)

四月 (1118)

五月 (1129)

六月 (1138)

七月 (1147)

八月 (1155)

九月 (1164)

十月 (1171)

十一月 (1180)

十二月 (1188)

同治陆年 (1196)

正月 (1196)

二月 (1205)

三月 (1216)

四月 (1225)

五月 (1235)

六月 (1245)

七月 (1254)

八月 (1263)

九月 (1272)

十月 (1281)

十一月 (1291)

十二月	(1300)
同治柒年	(1309)
正月	(1309)
二月	(1317)
三月	(1326)
四月	(1334)
闰四月	(1342)
五月	(1352)
六月	(1361)
七月	(1370)
八月	(1379)
九月	(1388)
十月	(1397)
十一月	(1405)
十二月	(1415)
同治捌年	(1428)
正月	(1428)
二月	(1440)
三月	(1449)
四月	(1458)
五月	(1467)
六月	(1475)
七月	(1483)
八月	(1491)
九月	(1499)

十月	(1507)
十一月	(1515)
十二月	(1523)

同治玖年 (1531)

正月	(1531)
二月	(1539)
三月	(1547)
四月	(1555)
五月	(1563)
六月	(1570)
七月	(1577)
八月	(1585)
九月	(1592)
十月	(1601)
闰十月	(1610)
十一月	(1618)
十二月	(1626)

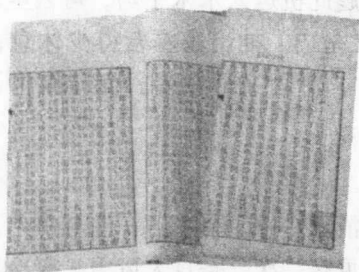
同治拾年 (1633)

正月	(1633)
二月	(1641)
三月	(1648)
四月	(1656)
五月	(1664)
六月	(1671)
七月	(1679)

八月	(1687)
九月	(1698)
十月	(1708)
十一月	(1720)
十二月	(1728)
同治拾壹年	(1736)
正月	(1736)
二月	(1744)

咸丰十年

日记



正月

初一日

五更二点起，拜牌行礼毕。黎明，见客十余次，皆文武员弁贺年者。饭后清理文件。写蒋之纯信一件。旋坐小轿至城外周历阅看，共十余里，未刻归营。中饭后小睡。是日辰刻，写胡中丞信，巳刻，写骆中丞信，又早晚写季弟信二件。夜，睡略酣，四更未醒，五更仍稍成寐，在近日为难得者。夜闻凄风冷雨，念前敌鲍军

被围，殊深系念。

初二日

早出，巡视营墙。饭后清理文件。旋见客三次。写季弟信一件、胡中丞信一件。闻廿九日蒋以五营出战，虽胜负不分，而得以解鲍军东面之围，霆左营得趁此机运入水米子药，可云至幸。又闻多公派精选前营扎霆左营之垒内，抽出霆左营得少休息，欣慰之至。中饭后，写季弟信一件，清理文件颇多。夜与作梅、小泉鬯谈。

初三日

早出，巡视营墙。饭后清理文件，写家信一件与季弟，写胡中丞信。见客六次。中饭后又见客一次。是日大风雪，寒冷异常。与陈作梅鬯谈。夜与仙屏鬯谈。渠明日将北上也，本日办酒席为之饯行。夜，洗脚，早睡，颇能成寐。

初四日

早出，巡视营墙。饭后清理文件，写家信一件与澄侯、沅甫。又写信与叔父，寄辽东大参四两三钱，系十月廿二日胡中丞所送，又银匣子一个，邹桐之所送也。附寄季弟信八件，他人寄沅弟信二件。午刻专人送至家。仙屏午刻起行进京。旋见客三次。中饭后写李少泉信一件。是日寒甚，未刻后放晴。夜，与作梅鬯谈。心绪不宁，盖中无所得，不能不为境所移，滋足愧也。是日派彭山岷至太湖看地势。

初五日

早出，巡视营墙。是日天晴，雪霁，人心为之一快。饭后清理文件，见客二次。写季弟信，专曹荣送去，又一件，专华字营马送去。写胡中丞信。中饭后核改信稿廿余件。旋与作梅、筱泉鬯谈。日内，系恋小池驺军情，寸心悬悬，不得少宁，行坐均若不案，盖心血积亏而关系亦至重大也。夜阅《郑康成传》。接家信，沅弟一

件、纪泽儿一件，十八日所发。

初六日

早出，巡视营墙。饭后清理文件。写信与季弟。旋又写一信与鲍超。批李申夫、朱品隆各禀。中饭后见客数次。邓弥之来营久谈。傍夕写胡中丞复信。二更又写一复信，又写唐义渠信。日内，因前敌事急，心绪无片刻之暇，未能看书，并不能清厘报销册等件。二更倦甚，几不能说话。是日接左季高信，知萧军已于廿五日成行，季高已出抚署。

初七日

早出，巡视营墙。饭后清理文件。见客三次。写季弟信一次。中饭请邓弥之便酌。接太湖信，知唐义渠军于初六日在小池駟小挫，被贼踏毁营盘三座，心甚悬系。旋写信复胡中丞。见客二次。夜悬念小池駟，心甚不安，睡不成寐。

初八日

是日，恭逢先祖星冈公生日。因日内战事纷纷，无暇，未及设祭。早出，巡视营墙。饭后亲理文件。写季弟信一件。批朱、李各禀，核改信稿。中饭后写胡中丞信，又密信一件。心绪不安，悬念前敌事，至为切切。夜，与作梅畅论《易图》及风水之说，又论天下之理，惟易简乃可行，极为契合。是夜，彻夜不眠。寸心微有郁积，总由中无所得，下学而不克上达，故世俗之见，尚不免胶扰于怀来耳。

初九日

早，清理文件。出外，巡视营墙。饭后改信稿二件，见客四次，写唐义渠信、季弟信，批太湖军情各禀。中饭后见客三次。傍夕闻贼窜太湖，心极悬系。又闻郭云仙被僧王参劾，亦为惦念。夜写郭意诚信一件、胡中丞信一、金逸亭信一、李申夫信一。是夕，彻夜不寐。

初十日

早出，巡视营墙。饭后清理文件。旋见客三次，写胡中丞信，批申夫禀，写信与金逸亭。中饭后剃头一次。是日未闻贼上窜太湖之信。下半日又复胡中丞信。与蒋之纯信，欲其进扎小池駟附近，以通鲍营粮路。酉刻，折差任祖文自京城归。夜阅京信各件。是夜，稍得成寐。申刻与作梅论修己治人之道甚畅。

十一日

早出，巡视营墙。饭后清理文件，复胡中丞信，寄金逸亭信，与季弟信，见客四次。中饭后又复季弟信。是日辰刻接多、蒋二信，言鲍营粮路颇通，为之欣慰。傍夕闻金军至王家牌楼，十二日可开仗，尤为慰喜。夜，接鲍信，言贼围鲍营甚急，又极焦灼。夜发胡中丞信一件，金逸亭、鲍春霆信各一件。竟夕不眠。

十二日

早出，巡视营墙。辰，饭后清理文件，与朱云岩信一件。旋批朱、李各禀。接凌荫亭信，罗溪河尚稳。见客四次。中饭后复胡中丞信。清理各文件。是日定派吉中二营、湘前强中二营、湘后营，各六成队，去新仓打行仗，以救鲍军。部署粗定，是夜又添派吉左营去。本日未闻鲍军被围之信，寸心稍安。又闻金、余军业至高横岭、白洋岭一带。接萧、余公回信，为之一慰。

十三日

早出，巡视营墙。饭后清理文件。是日吉中二营至新仓助打行仗。余在马上观之，旗帜殊不鲜明。又六成队而每旗仅五人，逐一细数，不甚惬意。旋赴二营查墙子，令在家者满队站墙，逐一细数，义字营仅八十七人，中军仅九十二人。因诘问彭盛南，恐营内缺额太多。彭言各营实出有七成队，有二人先行，在前押锅帐行李也。辰正接太湖信，知金逸亭十一日在高横岭大获胜仗，杀贼三千，蹋贼营二座。王家牌楼贼巢亦被攻破，为之大慰，小池阳駟从